

2017 年度 新潟大学経済学部 経済ゼミナール協議会予算案

執行委員長 田中 大地

会計担当 高井 蓮

<目次>

	ページ
1、 2017 年度インター、インナー大会参加学生に対する参加補助の算出方法・・・	2
2、 2017 年度インター大会関連予算案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3、 インター、インナー大会参加費補助についての細則・・・・・・・・・・・・・・・・	6
4、 新潟大学経済学会補助金支出に関するガイドライン・・・・・・・・・・・・・・・・	11
5、 2017 年度インナー大会関連予算案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
6、 2017 年度学内予算案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
7、 2017 年度総務支出予算案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	16
8、 2017 年度経済ゼミナール協議会予算案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
9、 2017 年度新潟大学経済学部経済ゼミナール協議会役員名簿・・・・・・・・	18

インター・インナー大会参加学生に対する補助金算出方法

新潟大学経済学部経済ゼミナール協議会

渉外局インター大会担当 三井健太郎

インナー大会担当 石井 義志

参加ゼミ生にかかる交通宿泊費基準と補助割合

《インター》

全国のブロックを以下のようにさらに細かく分け、その中の代表的な都市を基準とする。

北海道（札幌）：北海道

東北（仙台）：青森県 | 岩手県 | 宮城県 | 秋田県 | 山形県 | 福島県

関東（東京）：茨城県 | 栃木県 | 群馬県 | 埼玉県 | 千葉県 | 東京都 | 神奈川県 | 山梨県

中部（名古屋）：岐阜県 | 静岡県 | 愛知県 | 三重県

関西（大阪）：滋賀県 | 京都府 | 大阪府 | 兵庫県 | 奈良県 | 和歌山県

中国（広島）：鳥取県 | 島根県 | 岡山県 | 広島県 | 山口県

四国（高知）：徳島県 | 香川県 | 愛媛県 | 高知県

九州（博多）：福岡県 | 佐賀県 | 長崎県 | 熊本県 | 大分県 | 宮崎県 | 鹿児島県 | 沖縄県

《インナー》

各都道府県の代表的な都市（各県の県庁所在地）を基準とする。

北信越 富山県 | 石川県 | 福井県 | 長野県

1. 交通費

各基準都市までの交通費を算出する。なお、交通手段として主に新幹線、JR 特急・新幹線を利用する。

・片道の営業キロが 601 キロ以上ある場合、「ゆき」「かえり」運賃に対して 1 割引を適用

・JR から指定を受けた中学・高校・大学・専修・各種学校の学生・生徒の方でご利用区間の片道の営業キロが 101 キロ以上ある場合、運賃に対して 2 割引を適用。（要学生・生徒旅客運賃割引証）

渉外局(インター局)の予算を JR 規定料金に合わせて計算した。乗車券については新潟—大阪間の距離が学生割引・往復割引適用条件を満たしているため計算に含めている。

《インター》

詳細(区間)	料金	往復合計
乗車券(新潟大学前駅—鶴橋駅)	11660×0.8×0.9	¥16,780
特急券(新潟駅—新大阪駅)	4950+5700	¥21,300
近鉄大阪線(鶴橋駅—長瀬駅)	210	¥420
片道合計 往復合計	¥19,250	¥38,500

《インナー》

詳細(区間)	料金	往復合計
乗車券(新潟大学前駅—西富山)	8080	¥8,080
特急券(新潟駅—上越妙高駅)	1120	¥2,240
北越新幹線(上越妙高駅—富山駅)	2590	¥5,180
片道合計 往復合計	¥11790	¥15,500

※この金額には乗り換え割り、往復割引等が適用されている。

補助金に関する細則の変更について

昨年度のインター大会山口大学大会の補助金を受けて、補助金の割合などの変更が考えられている。昨年度は交通費 6 割、宿泊費 7000 円/泊を経済学会より負担していた。今年度の変更については決定次第インター大会参加ゼミの代表者に随時連絡する。

2017年度 第64回インター大会関連費予算案

新潟大学経済学部経済ゼミナール協議会

渉外局インター大会担当 三井健太郎

1) 経ゼミ協で支出する費用(要員人数を示す)

1、6月18日(日)

テーマ設定会議(3人) 会場:近畿大学

①(宿泊費+交通費)

$(¥7,000+¥38,500) \times 3人 = \underline{¥136,500}$

2、7月15日(土)

第二回理事校会議(2人) 会場:近畿大学

①(宿泊費+交通費)

$(¥7,000+¥38,500) \times 2人 = \underline{¥91,000}$

3、11月11日(土)~12日(日)

魅力向上会議・プレゼン部門予選会(3人) 会場:近畿大学

②(宿泊費+交通費)

$(¥14,000+¥38,500) \times 3人 = \underline{¥157,500}$

4、12月8日(金)~10日(日)

第三回理事校会議・インター大会(3人) 会場:近畿大学

①(宿泊費+交通費)

$(¥21,000+¥38,500) \times 3人 = \underline{¥178,500}$

5、2018年4月

第一回理事校会議(2人) 会場:日本大学

①(宿泊費+交通費)

$(¥7,000+¥20,540) \times 2人 = \underline{¥55,080}$

6、加盟校費(平成30年度加盟校費分)

¥25,000

7、予備費

¥300,000

○1、2、3、4、5、6、7の合計

¥618,500+¥25,000+¥300,000=¥943,580

2) 学部生に対する補助

「新潟大学経済学会補助金支出に関するガイドライン」

「インター、インナー大会参加補助についての細則」参照。

¥500,000までが経ゼミの負担額となります。

したがって

1) ¥943,580 と 2) ¥500,000 の合計の ¥1,443,580 が本年度の予算となります。

【料金詳細】※交通費はすべて往復で算出する。*

注意事項

- ・ 経済ゼミナール協議会会議出席者または大会要員と大会参加学部生は、交通機関として公共機関を使用すること。
- ・ 補助金に関する細則に従って **JR** 費用を用いて算出しているが、これよりも安く往復でき出席者に無理な身体的負担がかからない手段があるのであれば、随時そちらのプランに変更する。

インター、インナー大会参加費補助についての細則

平成 27 年 9 月 3 日

1. 本細則の設定背景

「新潟大学経済学会 補助金支出に関するガイドライン」においては、「1. ゼミナール協議会が関わるインター、インナー大会参加費補助」および「2. 上記 1 以外のインター、インナー大会参加費補助」において、学生が負担する費用の一部を補助する規定がある。しかしながら、このガイドラインでは具体的な補助額の算出方法が明確に規定されていない。本細則は、補助額の算出方法を明確に規定することで、実務上の混乱を避けるために設定されるものである。また、上記ガイドラインでは、具体的な補助額の算定において、ゼミナール協議会が関わるインター、インナー大会とそれ以外とを分けていないことから、両者に統一の細則を定めるものである。

2. 大会会場までの交通費（パック・ツアーを利用しない場合）

学生会員がインター、インナー大会に参加する場合、大会会場までの交通費の算出は以下の方法で行い、補助額は「算出された交通費×60%」とする。

- ① 補助対象とする交通費は、JR での移動を基本とし、新潟大学五十嵐キャンパスの最寄駅「新潟大学前駅」から、大会が開催される会場の最寄駅までを対象として算出する。具体的には、新潟大学前駅から学割（2 割引）の料金と特急券（指定席料金）の合計金額（往復料金）とする。

参考 【別表】インター大会およびインナー大会に係る旅費計算（目安）

それ以外の地域への移動に係る費用については、補助の対象とならない。

（補助の対象とならない例）

- ・最寄駅から会場までの移動費
 - ・会場から昼食等のために移動した場合の移動費
 - ・宿泊先から会場までの移動費
- ② 飛行機移動の場合は、往復航空券の料金を上記①で算出した金額と比べ、いずれか小さい方を大会参加に係る交通費とする。（したがって、交通費の最大額は JR による学割往復料金である。）（注）新潟大学～新潟空港および〇〇空港～大会会場への移動は交通費の計算に含めない。

- ③ その他、高速バス等、上記以外の移動手段を選択した場合、当該移動手段に係る料金を上記①で算出した金額と比べ、いずれか小さい方を大会参加に係る交通費とする。（したがって、交通費の最大額は JR による学割往復料金である。）

3. 宿泊料

大会参加に係る宿泊料は、1泊あたり 7,000 円を補助する。

4. パック・ツアー（交通費＋宿泊）を利用した場合

大会参加にあたり、各種旅行会社のパック・ツアー（JR か飛行機利用かは問わない）を利用した場合、上記 2 に倣い、補助額は「(新潟大学前駅から大会会場の最寄駅までの JR 学割往復料金) × 60% + 宿泊料 7,000 円 × 宿泊日数」とパック・ツアー料金を比較し、いずれか小さい方とする。

5. 提出すべき書類等

補助を申請する場合は、以下の書類等を提出しなければならない。

- 開催日時・開催地・大会概要を示す書類（大会プログラム等）
- 大会での報告論文およびプレゼンテーション資料
（報告された論文はすべて提出）
- 個人毎に補助額の算出過程を示した書類（様式は付表を参照）
- 交通費の支払いに関する領収書等（本細則付属の領収書貼付台紙を利用するか、同様の形で提出）

（注）飛行機を利用した場合は往復の半券も提出すること。

宿泊の領収書は提出不要

6. その他の注意事項

補助の対象となるものは、学会等を母体としたインター、インナー大会とし、ゼミナール間の合同合宿や勉強会は対象としない。

上記 5 の提出書類が揃わない場合、補助の対象としない。交通費のうち領収書のないものも補助の対象としない。

【付表】個人毎の補助額算出過程

ゼミ	グループ番号	在籍番号	氏名	移動区間	移動手段	支払交通費	大会参加期間	宿泊期間	領収書の有無
〇〇ゼミ	1	〇〇K〇〇〇B	〇〇 〇〇	新潟大学前駅～〇〇駅	JR	×××円	〇月〇日～〇日	〇月〇日～〇日	有
目的			論文タイトル			宿泊先(ホテル)名・泊数		会員資格	
テーマ設定会議に出席			〇〇〇〇〇〇〇〇			〇〇ホテル・2泊		有	
【補助額の計算】									
JR 交通費 () 円×60% + 宿泊料 7,000 円×宿泊日数 () 日 = () 円									
(注) JR を利用した場合の交通費の算出規定は以下の通り。 新潟大学五十嵐キャンパスの最寄駅「新潟大学前駅」から、大会が開催される会場の最寄駅までを対象として算出する。具体的には、新潟大学前駅から学割(2割引)の料金と特急券(指定席料金)の合計金額(往復料金)とする。									

ゼミ	グループ番号	在籍番号	氏名	移動区間	移動手段	支払交通費	大会参加期間	宿泊期間	領収書の有無
〇〇ゼミ	1	〇〇K〇〇〇B	〇〇 〇〇	新潟空港～〇〇空港	飛行機	×××円	〇月〇日～〇日	〇月〇日～〇日	有
目的			論文タイトル			宿泊先(ホテル)名・泊数		会員資格	
インター大会に参加			〇〇〇〇〇〇〇〇			〇〇ホテル・1泊		有	
【補助額の計算】									
① JR 交通費 () 円									
② 支払交通費 () 円									
上記①および②のうち、小さい方の金額 () 円×60% + 宿泊料 7,000 円×宿泊日数 () 日 = () 円									
(注) 飛行機を利用した場合の交通費の算出規定は以下の通り。 往復航空券の料金を上 JR 利用で算出した金額と比べ、いずれか小さい方を大会参加に係る交通費とする。新潟大学～新潟空港および〇〇空港～大会会場への移動は交通費の計算に含めない。									

ゼミ	グループ番号	在籍番号	氏名	移動区間	移動手段	支払交通費	大会参加期間	宿泊期間	領収書の有無
〇〇ゼミ	1	〇〇K〇〇〇B	〇〇 〇〇	新潟大学前～〇〇	高速バス	×××円	〇月〇日～〇日	〇月〇日～〇日	有
目的			論文タイトル			宿泊先(ホテル)名・泊数		会員資格	
インター大会に議長団として参加			〇〇〇〇〇〇〇〇			〇〇ホテル・2泊		有	
【補助額の計算】									
① JR 交通費 () 円									
② 支払交通費 () 円									
上記①および②のうち、小さい方の金額 () 円×60%+宿泊料 7,000 円×宿泊日数 () 日 = () 円									
(注) 借上バスを利用した場合の交通費の算出規定は以下の通り。									
当該移動手段に係る料金を JR 利用で算出した金額と比べ、いずれか小さい方を大会参加に係る交通費とする。									

ゼミ	グループ番号	在籍番号	氏名	移動区間	移動手段	支払交通費	大会参加期間	宿泊期間	領収書の有無
〇〇ゼミ	1	〇〇K〇〇〇 B	〇〇 〇 〇	新潟大学前駅～〇〇 駅	パック・ツアー —	×××円	〇月〇日～〇 日	〇月〇日～〇 日	有
目的			論文タイトル			宿泊先(ホテル)名・泊数		会員資格	
インター大会に参加			〇〇〇〇〇〇〇〇			〇〇ホテル・2泊		有	
【補助額の計算】									
① JR 交通費 () 円×60% + 宿泊料 7,000 円×宿泊日数 () 日 = () 円									
② パック・ツアー料金 () 円									
上記①および②のうち、小さい方の金額 () 円									
(注) パック・ツアーを利用した場合の補助額の算出規定は以下の通り。									
大会参加にあたり、各種旅行会社のパック・ツアー (JR か飛行機利用かは問わない) を利用した場合、補助額は「(新潟大学前駅から大会会場の最寄駅までの JR 学割往復料金) ×60%+宿泊料 7,000 円×宿泊日数」とパック・ツアー料金を比較し、いずれか小さい方とする。									

新潟大学経済学会
補助金支出に関するガイドライン

平成 27 年 9 月 3 日

新潟大学経済学会による補助金一覧

1. ゼミナール協議会が関わるインター、インナー大会参加費補助
2. 上記 1 以外のインター、インナー大会参加費補助
- 3～7. (以下、削除)

1. ゼミナール協議会が関わるインター、インナー大会参加費補助

一般的な交通手段を用いた大会会場までの交通費の 60%相当額と宿泊料 1 泊当たり 7000 円を補助する。

補助対象

- ・ 学生会員であること
- ・ テーマ設定会議：1 論文 1 人まで
- ・ 大会当日：1 論文（発表）4 人まで
- ・ 議長団：1 論文 3 人まで

2. 上記 1 以外のインター、インナー大会参加費補助

上記 1 に準拠して補助金を支出する。

補助対象

- ・ 学会等を母体としたインター、インナー大会への参加学生会員を対象とする。
- ・ 1 論文（発表）につき 4 人まで

(注) 学会等を母体としたインター、インナー大会を対象とし、ゼミナール間の合同合宿や勉強会は対象としない。上記 1 及び 2 の参加費に係る補助額の算定及び申請手続きについては、上述(6 ページ)に細則を定める。

(以下削除)

2017年度インナー関連予算案

新潟大学経済ゼミナール協議会

インナー担当 石井義志

(1) 経済ゼミナール協議会 インナー大会関連活動費

1.参加加盟校費	¥6,000
2.第一回理事校会議 会場：富山大学	
交通費¥15,500 (往復料金)	¥15,500
3.第二回理事校会議 会場：富山大学	
交通費¥15,500 (往復料金)	¥15,500
4.第三回理事校会議 会場：富山大学	
交通費¥15,500 (往復料金)	¥15,500
5.第四回理事校会議 会場：富山大学	
交通費¥15,500 (往復料金)	¥15,500
6.第49回インナー大会 会場：富山大学	
交通費¥15,500 (往復料金) + 宿泊費¥7,000	¥22,500
2～6 合計	¥84,500
¥84,500×4人+¥22,500	¥360,500
1+¥360,500	¥366,500

(2) 学務生に対する補助

インナー大会に出場する学生には、大会本番の旅費¥22,500（一人分、うち交通費¥15,500 宿泊費¥7,000）のうち、交通費×6割+¥7,000=¥16,300を補助金として援助する。

近年の新潟大学からの参加人数を参考とし、今大会の参加人数を3チーム、計8名と仮定し、 $¥16,300 \times 8 \text{人} = ¥130,400$ を経済ゼミナール協議会の補助金として予算に組み込むこととする。

詳細に関しては、

「新潟大学経済学会補助金支出に関するガイドライン」

「インター、インナー大会参加補助についての細則」を参照。

(3) 予備費

インナー大会関連活動費及び補助金に対する臨時の出費に備え¥100,000を予備費として予算に組み込む。

従って、(1) ¥366,500 と (2) ¥130,400、(3) ¥100,000 の合計金額¥596,900 を今年度の予算とする。

【備考：交通路の詳細】

・富山大学（JR 新潟大学前駅－JR 西富山駅）

① 新潟大学前－新潟→JR 越後線

新潟－上越妙高→JR 特急しらゆき

上越妙高－富山→JR 新幹線はくたか

富山－西富山→JR 高山本線

合計所要時間：3 時間

② 新潟大学前－新潟→JR 越後線

新潟－大宮（埼玉）→JR 新幹線 Max とき

大宮（埼玉）－富山→JR 新幹線はくたか

富山－西富山→JR 高山本線

合計所要時間：4～5 時間

③ 新潟大学前－新潟→JR 越後線

新潟－高崎→JR 新幹線とき

高崎－富山→JR 新幹線はくたか

富山－西富山→JR 高山本線

合計所要時間：4 時間

④ 新潟大学前－新潟→JR 越後線

新潟－富山駅前→新潟交通高速バス

富山－西富山→JR 高山本線

合計所要時間：4 時間

・ 役員の学業上の都合によって、他の交通ルートを選択する場合もある。

(例：会議が日曜で月曜に授業が入っている場合など)

【注意事項】

- ・経ゼミ協の会議出席者または大会要員と大会学部生は、交通機関として基本的には公共交通機関（JR を基本とする）を利用すること。
 - ・交通機関や宿泊地の地理を考えた上で、現在最も安く往復できるプランを算出しているが、これよりも安く往復できるプランがあれば、随時そちらのプランに変更していく。
 - ・交通費および宿泊費は単価を計算した後、合計人数をかけたものを計上する。
 - ・上記（2）学務生に対する補助は実際に補助される金額とは限らない。
-
- ・現在の補助金額は「新潟大学経済学会 補助金支出に関するガイドライン」（平成 27 年 6 月 18 日改訂）に準じており、変更される可能性があることをご了承願う。

2017 年度学内予算案

新潟大学経済学部経済ゼミナール協議会

学内担当責任者 志田香澄

1. 図書・編集費	(単位：円)
書籍購入費	50,000
経済論集『壮志』製作費	250,000
小計	300,000
2. 企画関連費	
新入生歓迎会運営費	
賞品代	40,000
消耗品代	5,000
前期スポーツ大会運営費	
賞品代	40,000
備品代	90,000
後期スポーツ大会運営費	
賞品代	40,000
備品代	35,000
小計	250,000
合計	550,000

※ 2018年3月に予定している卒業祝賀会は、経済ゼミナール協議会とは別会計で行われます。

2017年度総務支出予算案

新潟大学経済学部経済ゼミナール協議会

執行委員長 田中 大地

会計担当 高井 蓮

支出合計		
	勘定科目	金額(単位:円)
1	事務消耗品費	30,000
2	事務備品費	43,000
3	印刷費	1,000
4	雑費	2,000
5	予備費	100,000
支出合計		176,000

<勘定科目の詳細>

1 事務消耗品費

インク代、ボールペン、ノート、封筒 等

2 事務備品費

デジタルカメラ、ファイル、名刺代 等

3 印刷費

コピーカード代 等

4 雑費

その他振込手数料等

2017年度経済ゼミナール協議会予算案

新潟大学経済学部経済ゼミナール協議会

執行委員長 田中 大地

会計担当 高井 蓮

(単位：円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	¥1,728,435	インター大会関連費	
		経ゼミ協活動費	¥1,443,580
経ゼミ協会費 (¥6,000×255人)	¥1,530,000	インナー大会活動費	
		経ゼミ協活動費	¥596,900
		学内活動費	
		図書・編集費	¥300,000
		企画関連費	¥250,000
		事務消耗品費	¥30,000
		事務備品費	¥43,000
		印刷費	¥1,000
		雑費	¥2,000
		予備費	¥100,000
		次年度繰越金	¥491,955
合計	¥3,258,435	合計	¥3,258,435

2017年度新潟大学経済学部経済ゼミナール協議会役員名簿

執行部

執行委員長 3年 田中 大地

副執行委員長 3年 石井 義志
 3年 志田 香澄

会計

3年 高井 蓮

渉外局

インター大会担当

3年 三井 健太郎
3年 石田 装子

インナー大会担当

3年 細矢 瑛理
3年 佐藤 達郎

学内局

3年 菅家 翼
3年 大滝 満璃奈